



Kanjiru(Art)展覧会

古村 耀子個展 「いろいろ」

アートギャラリーのようでギャラリーではない、
“A gallery, but not a gallery”をコンセプトにした、
神戸元町山手の「BIOME (バイオーム)」(以下「BIOME」)によるKanjiru(Art)展覧会のご案内です。

古村 耀子個展 イラストレーション 「いろいろ」

会期：2020年3月20日(金)～3月29日(日)
時間：12:00-18:00(最終日は17:00閉廊)
休廊：3月25日(水)
在廊：在廊の予定はございません。
作品：約30点 アクリル、ドローイング など

東京での活動を主とする古村耀子が、神戸で初の個展を開催します。題して「いろいろ」。時代を経て、シュールでどこかクールな女性やインテリア、動物を描く古村耀子の世界を、いろいろ分解しいろいろ見つめ直してみる。そんな展覧会をBIOMEにてご案内いたします。

アーティスト紹介

古村 耀子 (YOKO KOMURA)

東京出身
武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科 卒業
グラフィックデザイナーを経て、イラストレーターとして活動。
主な出展等 2019年 11月 スペースユイ「モード」(北青山)

みどころ

古村耀子への賛辞として、お洒落だとか可愛らしいだとかそんな言い方が大半を占めますが、BIOMEを感じる魅力は複雑性だと断言します。

ペールトーンが物哀しく、クールにとる人もいれば、フェルティッシュな温もりを感じる人もいます。キラキラ瞬く瞳がむしろ空虚で、スタイリッシュなインテリアは別の何かを象徴しているだけなのかもしれない。時に、熱い色が織り込まれ痺れるような痛みを感じる時もある。東京を拠点に活動をしている古村耀子が、初の神戸でご案内するテーマに選んだのは「いろいろ」。原画で楽しめるアクリル画は媒体を通して観るよりずっと迫力があり、ドローイングのプリントはシンプルに線を追いかけてください。

春を迎える3月は複雑な季節です。気候に体調に動向、いろいろあります。そんな様々な思いや光景を抱えたままでどうぞBIOMEにお運びください。古村耀子の作品たちがとことんまで観覧者の心情に寄り添って行きます。ご期待ください。

本件に関するお問合せ
BIOME (バイオーム)

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通5-7-15 グローリー山手ビル101
tel : 090-3945-2040 email : artroom@biome-kobe.com

BIOMEのKanjiru(Art)
古村 耀子個展

2020年3月20日（金）～3月29日（日）12:00-18:00
3/25（水）休廊・3/29（日）17:00閉廊



いそいそ



©古村耀子2020 「水玉のバッグ」 180×240mm アクリル